

ジオ楽間

瑕疵を防ぎ住宅の質を高める情報誌

JIORAMA

2023
summer
Vol. 42



【新連載】基礎の奥義 #1

基礎のコスト削減は
可能か？

電気料金の値上げでどうする？

待ったなし！
省エネ住宅の最前線

ジオ楽間

JIORAMA

「ジオ楽間」は、瑕疵を防ぎリスクに備えるための技術情報と、福利厚生に役立つ情報を友の会会員さまにお届けする情報誌です。タイトル「ジオ楽間(ジオラマ)」には「瑕疵がなく、楽しく、幸せに暮らせる間(住まい)の普及」という願いを込めています。

表紙: 小田原文学館 別館 (撮影: 奥山晴日)

Message

今号より装いを新たにし、新連載が3つも始まりました。

世の中で始まっていること、経営に役立つような情報をお伝えする【工務店経営】、今更聞けない? 技術的な基本を押さえつつ、図も多く用いて解説するコラム【基礎の奥義】、いままでの施工を振り返りながら解く、明日から使える、誰かに教えたい【施工の豆知識クイズ】。いずれも読者の皆様のお役に立てる内容になっているのではないかと思います。

世の中の情勢が目まぐるしく変わり、先の見通しが立てにくい状況にあります。これからもジオ楽間は、友の会会員の皆様へ有益な情報、瑕疵発生への低減につながる情報をお届けしていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

株式会社日本住宅保証検査機構(JIO)、JIO友の会

Contents

2023 SUMMER Vol. 42

02... 特集

電気代の値上げでどうする? 省エネ住宅の 最前線

07... **新連載** 明日から使える! **施工の豆知識クイズ**
サッシまわりの防水テープ、
正しい張り方はどれ?

08... **地域で活躍する 住宅設計の達人**
第2回: 三浦正博 (設計島建築事務所・宮城県仙台市)

12... **新連載** 時流を読む**工務店経営**
第1回: 現場管理はリモート化できるのか?
取材先: 株式会社 log build

14... **新連載**

賢く・正しく・美しく! **基礎の奥義**

第1回: 基礎梁の美しい配置こそ
コスト削減の王道

解説: 鈴木竜子 (山辺構造設計事務所)

18... **住宅文化財探訪のすすめ**

小田原文学館
旧田中光顕別邸
神奈川県小田原市

21... **JIO友の会**

クラブオフからのお知らせ

Staff

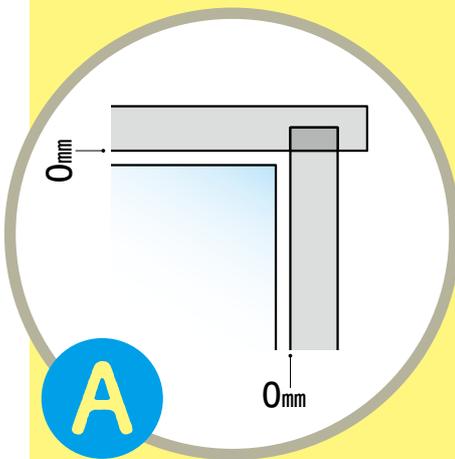
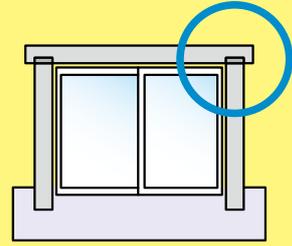
発行: JIO友の会
企画: 日本住宅保証検査機構(JIO) + エクスナレッジ
編集: エクスナレッジ
デザイン: 山川図案室

明日から
使える!

施工の豆知識クイズ

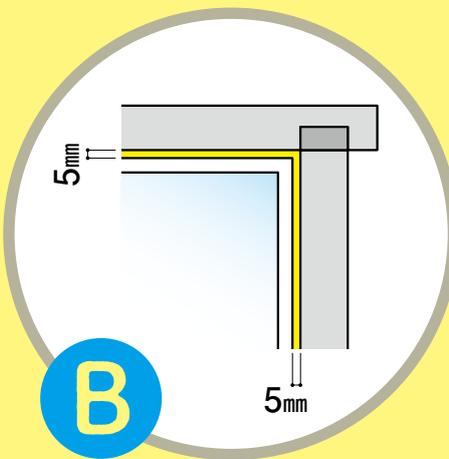
問

サッシまわりの 防水テープ、 正しい張り方はどれ?



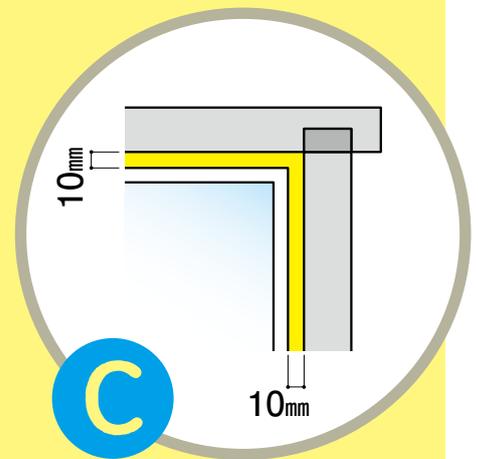
A

サッシ枠に突き付けて
ぴったり張る



B

サッシ枠とのクリアランス
5mmで張る



C

サッシ枠とのクリアランス
10mmで張る

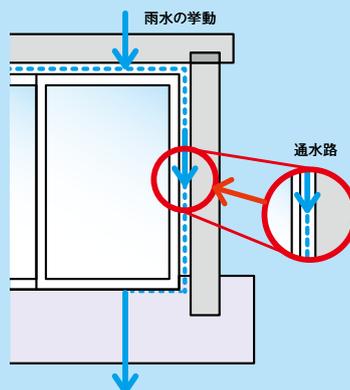
ヒント: 通気層に雨水が浸入した場合に備える

答

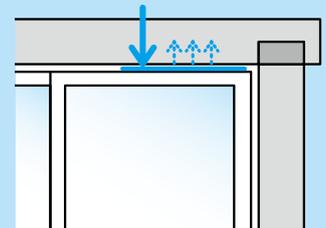
正解はBです。サッシまわりでは、外壁の通気層内に雨水が浸入した場合、スムーズに排水できるようにしなければなりません。サッシまわりの雨水の挙動を考えて、縦枠と上枠には通路として5mmほどのクリアランスをとって防水テープを張ります。クリアランスがないと防水テープや透湿防水シートにシワなどがあつた場合に「水みち」となり、サッシ上枠に溜まった雨水を吸い上げることがあります。逆に10mmもとるとサッシフィンへの防水テープの張りかけが少なくなってしまう、圧着不良があると防水テープが剥がれることがあります。

● 縦枠

サッシの上枠に溜まった雨水が縦枠側に流れるときに、防水テープや透湿防水シートを極力濡らさないように、通路としてのクリアランスを設ける。



防水テープ・透湿防水シートへの
吸い上げを防ぐ



● 上枠

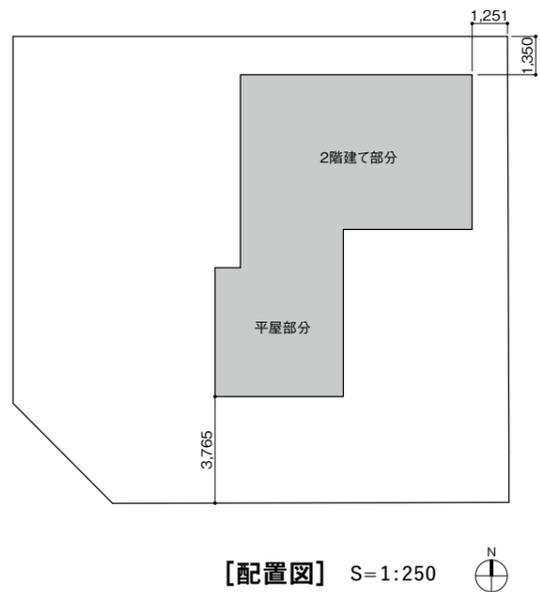
上から流下した雨水が上枠に溜まると、毛細管現象等により防水テープや透湿防水シートが雨水を吸い上げることがある。クリアランスを設けることで、雨水の吸い上げを防ぐ。



切妻屋根が仲良く肩を寄せるような外観。それぞれの屋根が各世帯を象徴する二世帯住宅。庇の下が玄関ポーチになっている



外壁のファサードラタンは、36mm角の野縁材を1本1本釘打ちで取り付けた。
「大工さんには感謝しかありません」(三浦さん)



Pick up
LOCAL
ARCHITECT

文:松川絵里

地域で活躍する 住宅設計の達人

全国には、各地域で活躍する住宅設計者が多数いる。なかでも断熱や耐震への意識が高い設計者は、近年、人気が高まっており、工務店にとって協働しやすい相手といえる。今回は、自然素材の家づくりにこだわる設計島建築事務所(仙台市)を紹介しよう。

第2回 三浦正博 (みうら・まさひろ)



PROFILE
1970年秋田県生まれ。新潟大学人文学部行動科学課程を卒業後、塾講師、雑貨屋勤務を経て独学で建築を勉強。新潟の工務店勤務、アジア横断、アフリカ縦断の旅を経て2001年、設計島建築事務所を設立。自然素材と断熱性の融合に取り組んでいる。2016年、第2回日本エコハウス大賞にて大賞を受賞。



雑貨好き、旅好きが 建築への入り口だった

私はアカデミックな場所では建築を学んだことはありません。建築設計が生業になるまでには紆余曲折があり、その起源は「雑貨好き」「旅好き」にあります。もともとアジアやアフリカなどの土着の生活雑貨や、ヨーロッパの文房具など、世界各地の雑貨が好きで、卒業後は雑貨店で働いてみたのですが、次第に興味が「モノ」から「空間」へと移り、専門学校でインテリアを学び直しました。住宅設計の面白さを目

覚めたのは、この時期に雑誌で建築家の吉村順三さんと中村好文さんの対談記事を読んだことがきっかけです。

「設計島」という事務所名の由来は、新潟で勤めた多角経営の

DATA 東松島の家

所在地: 宮城県東松島市
家族構成: 夫婦+子ども2人+母
構造: 木造2階建て
施工: negla設計室
敷地面積: 282.62㎡
延床面積: 102.67㎡
1階面積 70.38㎡
2階面積 32.29㎡
取得認定: 低炭素建築物認定
竣工年月: 2023年3月

【断熱性能】

UA値: 0.26W/㎡・K、
C値: 0.1cm/㎡
ηA値: 1.1(冷房期)

【断熱仕様】

屋根: 高性能グラスウール300mm
外壁: 高性能グラスウール105mm + XPS3b60mm
基礎: XPS3b100mm(内部立上り)、XPS3b50mm(スラブ上外周より600mm)、XPS3b50mm(底盤)

窓: APW430、330(樹脂窓真空トリプル)、エコスライド(アルス)
玄関: 木製断熱ドア(スニッカルペール)

【設備仕様】

暖房: 床下エアコン
冷房: 吹抜け上にルームエアコン
換気: 3種デマンド換気(マツナガ)

環境問題への意識が高断熱高気密へと導く

私の興味は世界的な環境問題にあるので、自然素材でできる

工務店で、オフィスの中央に机を寄せていた住宅部署が「設計島」と呼ばれていて、本格的な住宅設計のスタートラインとして、名前をもらいました。
独立後はすぐにホームページを作成し、許可を得てそれまでの仕事を掲載しました。一方でアジア横断やアフリカ縦断の旅に出たり、青年海外協力隊として2年間モロッコで過ごしたりしていたので、設計の仕事に本腰を入れたのは2006年頃といえます。工務店の外部設計者という立場で設計しながらも、ホームページからばちばち問い合わせがくるようになり、個人の仕事が増えていきました。

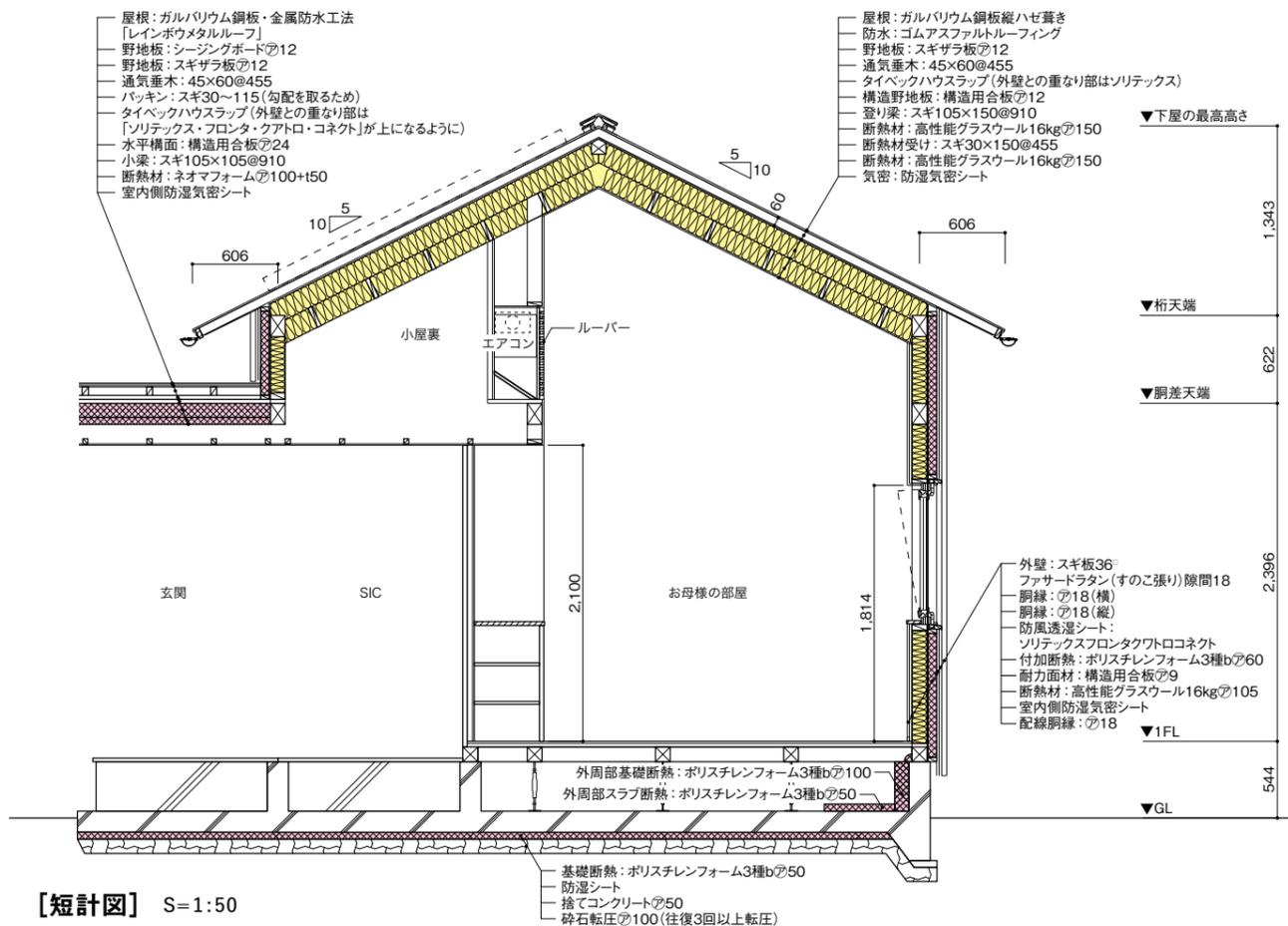
ただ環境負荷の少ない建築をつくることに注力しました。とはいえ、以前勤めた工務店が2006年ごろ高断熱高気密に舵を切ったときは、疑念でいっぱいでした。計画換気の家に対して、ICUで管を付けられている患者をイメージしてしまっただけです。それで、アンチの側から矛盾を突こうとしても、否定すべきことが見つからない。自然素材とも相反しないとわかりました。

以前、築100年の古民家をリノベーションして住みましたが、冬は薪ストーブをガンガン焚いても15℃以上にはなりません。子どもが生まれると、妻から暖かい住まいを求められたのも当然でした。また、当時設計した新築の家を訪ねると、施主さんたちは開放型のストーブで暖を採っている。エネルギーの垂れ流しで快

断面図で見る達人のこだわり



勾配天井が広がりをもたらすお母様のスペース。エアコンは小屋裏に設置し、目立たないようにルーバーで覆った



【短計図】 S=1:50

一人を貫き 納得いく仕事だけする

独立から今に至るまで、基本

柔軟な対応を心がけています。話して意見をとり入れるなど、仕様を変更してお客さんにも納得していただきます。現場で大工と

付き合う工務店は2〜3社です。依頼する基準は、断熱や気密をきちんと施工してもらえ

数社の工務店と時間をかけて信頼を築く

的に二人で仕事をしています。人を雇わない理由は、給料を支払うために、意に染まない仕事を受けざるを得ない状況をつくりたくないからです。でも、構造設計や、断熱性能・二次エネルギーの計算、模型製作を外注するなど、たくさんの方の助けを借りてやっています。

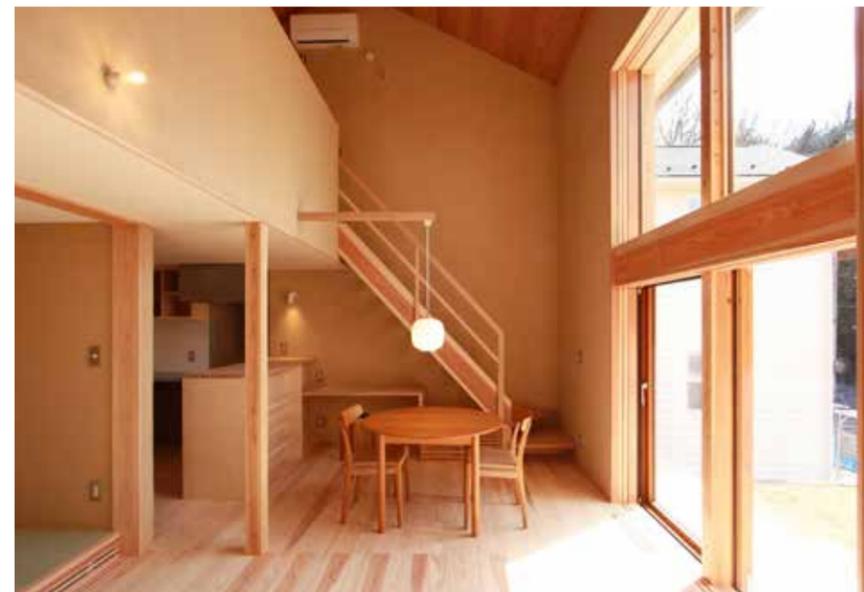
2016年には、自宅を高断熱高气密仕様で建てました。真冬でも日中は無暖房で、夕方から薪ストーブで採暖。一日を通して室温が20℃を下回ること

く、少ない光熱費でとても快適です。今回、紹介するのは近作の1つで、分棟型の二世帯住宅。息子さん世帯とお母様が一緒に暮らすため、お互いの適度な距離感を意識しました。浴室やトイレなどは共有している中で動線を設け、相手の生活空間を通ら

共有の玄関ホール。低めのスリット窓で視線を抜き、アイストップにベンチを設けた



FIXの高窓にも障子を設け、夏の日射を調整。掃き出し窓が高さ1800mmと低めなので、上の障子も手で楽に開け閉めが可能



息子世帯のリビング・ダイニング。構造材はスギ。階段下に暖房用床下エアコンがあり、畳の上がりの側面が吹き出し口に。階段上には冷房用のエアコン。開口部の上半分はFIX

平面図で見る達人のこだわり



【1階平面図】 S=1:100

L字形プランにより、息子世帯のリビングから母世帯の窓が見え、お互いに気配を感じ合うことができる



時流を読む 工務店 経営 第1回

現場管理は リモート化できるのか？

取材先: 株式会社 log build

大工だけでなく、現場監督も不足している現状

住宅業界の大工不足が話題に上がって久しいが、その陰でジワリと深刻化してきたのが、現場監督の不足だ。多くの工務店にとって、大工不足以上に逼迫感のある問題といえる。

現場監督の担い手が少ないのは、とにかく多忙であることに尽きる。日中は複数の現場をはしごして、夕刻に事務所に戻ってから、見積りや工程表を作成、受発注などを行う。大量の事務作業のために残業することも多々

2020年2月、新型コロナウイルスの感染拡大で世の中が混乱している最中、神奈川県工務店、株式会社 ecomo (以下、エコモ)の中堀健一社長は、現場管理業務の効率化システム「Log System」を販売する株式会社 log build (以下、ログビルド)を設立した。

コロナ禍を経てリモートワークやオンライン打ち合わせを取り入れる工務店が増えているが、現場管理業務だけはリモート化できない——、そう考えている経営者が少なくないようだ。現場に行かずに進捗・品質・安全の管理ができるのか？中堀社長に話を聞いた。



株式会社 log build 代表取締役社長の中堀健一氏は、神奈川県工務店 ecomo の創業者であり、社長でもある



事務所には、iPhoneやiPad、MacBookをワイヤレスで投影できるプロジェクタを使って、360度のVR現場空間を見ながら工程会議が行われる。同社ではIT化に取り組んだことで、若い人の入社希望が増えたという

あり、手配や段取りを間違えれば現場が混乱、休日を返上することも少なくない。もしトラブルがあれば会社の損失を招くことにもなる。若手や新人にとっても荷が重く、せつかく採用した人材が数年で辞めてしまうこともよく聞く話だ。人手不足で監督の多棟管理が当たり前となり、それがまた忙しさを助長する——この負のスパイラルに気づきながらも手を打っていないというのが、現状ではないだろうか。

現場に行かずに事務所まで確認できたら…

「現場管理における業務内容

を調べてみると、車で移動している時間が1日平均3時間半くらいあることがわかりました。運転している間は何もできない。この時間を事務作業に充てられないかと考えたのです」と、中堀社長は現状の「無駄」を指摘する。工務店であるエコモでは、2015年に市販の360度カメラを使って現場のリモート管理を試みたが、結局デジカメと同じで、現場で撮影したものを離れた人と共有できない、会社に戻ってから写真を整理して保存する手間がかかる、過去の状況をパッと出せない、ただの写真データなのでGoogle ストリートビューのよう

Log Systemの構成

Log Walk (ログウォーク)

360度カメラ画像をVR空間化する
リモート現場可視化アプリ

Log Meet (ログミート)

現場立ち合いに特化したオンライン施工管理アプリ

導入金額の目安
**年間30棟で
月額7~8万円程度**



ログウォークの画面。事務所や自宅にいても360度のVR空間で現場の状況を確認でき、気づいた点があれば付箋機能やiPadの手描き機能を使って簡単に指示することもできる



現場の大工が専用アプリと市販の360度カメラを使って撮影すると、その場でVR現場空間が生成される。これにより社員も協力業者もスマホで現場状況を把握することが可能

大工や職人が週2回ログウォークに360度写真をアップすることになっており、それを営業設計・インテリアコーディネーター・品質管理・設計監理(現場管理)・協力業者がパソコンやスマホで確認する。また、決まったタイミングで、本社の品質管理メンバーがログミートで現場の職人と5~15分程度のリモート品質検査を実施。現場へ行って検査する従来と違って移動時間がないので、

1日で複数検査をこなすことが可能。これにより、現場に足を運ぶ頻度は1現場につき8回以下に減ったという。

「以前は現場監督1人で年間8棟をこなす

人が減っても事業が継続する状態にしておく

現場管理をリモートで行うとはいっても、現場に足を運ばないわけではない。「現場には確認のためだけでなく、コミュニケーションのために向いていけばよいのです。弊社では現場監督以外の社員が「安全パトロール」と称して現場に足を運んでいます」(中堀社長)。「現場の整理整頓や安全管理、近隣との関係など、システムだけでは分からないことも

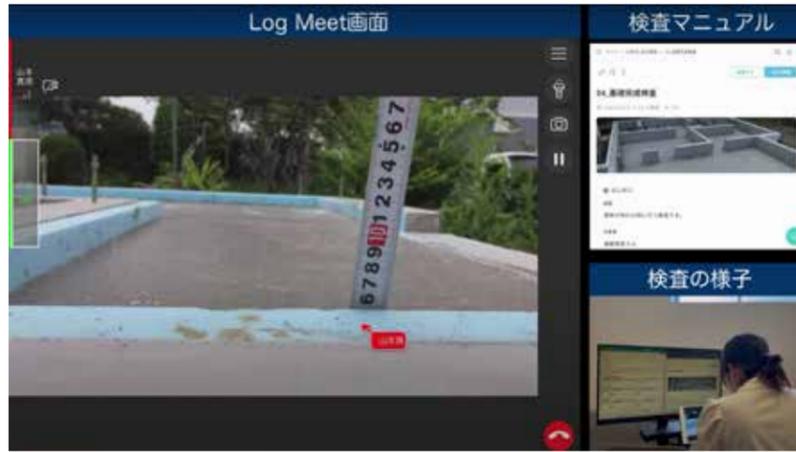


スマホがあればリモート検査が可能。職人は電話にできる感覚で、着信にできればOK

に歩き回れないなどの課題があった。そこで市販の360度カメラで撮影した画像をVR空間化し、その中を自由に歩き回れるアプリケーションの開発に着手。2021年にVR空間で施工指示ができる機能も備えた「Log Walk」(ログウォーク)が完成し、建設業向けに販売する態勢を整えた。

監督1人の年間担当数が8棟から15棟に

さらに2022年には現場立ち合いに特化したアプリ「Log Meet」(ログミート)をリリース。ビデオ通話機能を使ってリモートで現場の品質チェックをするのが可能になった。エコモでは、



ログミートでリモート検査を行う品質管理部のスタッフ。同社独自の品質管理チェックシートやマニュアル、標準施工要領書があるため、業界未経験の新人でも検査が可能。検査中に判断に迷うことがあっても、近くにいる先輩社員に聞けることもリモートのメリット。現場監督に依存する属人的管理ではなく、品質管理課が会社ルールに則って全棟を同一基準で検査・チェックをするので、工事ミスがぐんと減る



現場に行かずに、画面を見ながら現場の課題を話せるので、管理ミスが減らすだけでなく、再発防止の強化にも活用できる

あるからだ。IT活用によって無駄な作業を減らしたぶん、コミュニケーションやサービス、クリエイティブに時間を割き、仕事の質の向上を図る——これこそが、リモート化の目的といえる。

発売から3年、「コロナ禍で業界の関心がデジタル化に向けたことも幸いし、ログシステムを導入する工務店やゼネコンは170社を超えたという。「日本で人口が減っていくことは避けられませんが、どうあがいても現場監督が爆発的に増えることはないでしょう。これからの工務店経営は、人材が不足しても事業が継続できるように体制を確立することが求められます」と中堀社長。工務店経営者の視点で、今後も建設業のスマート化を進めるべく、システム開発に取り組んでいく。

基礎の奥義

連載 ● 賢く・正しく・美しく！

解説・鈴木竜子（山辺構造設計事務所）

基礎梁の美しい配置こそコスト削減の王道

第1回

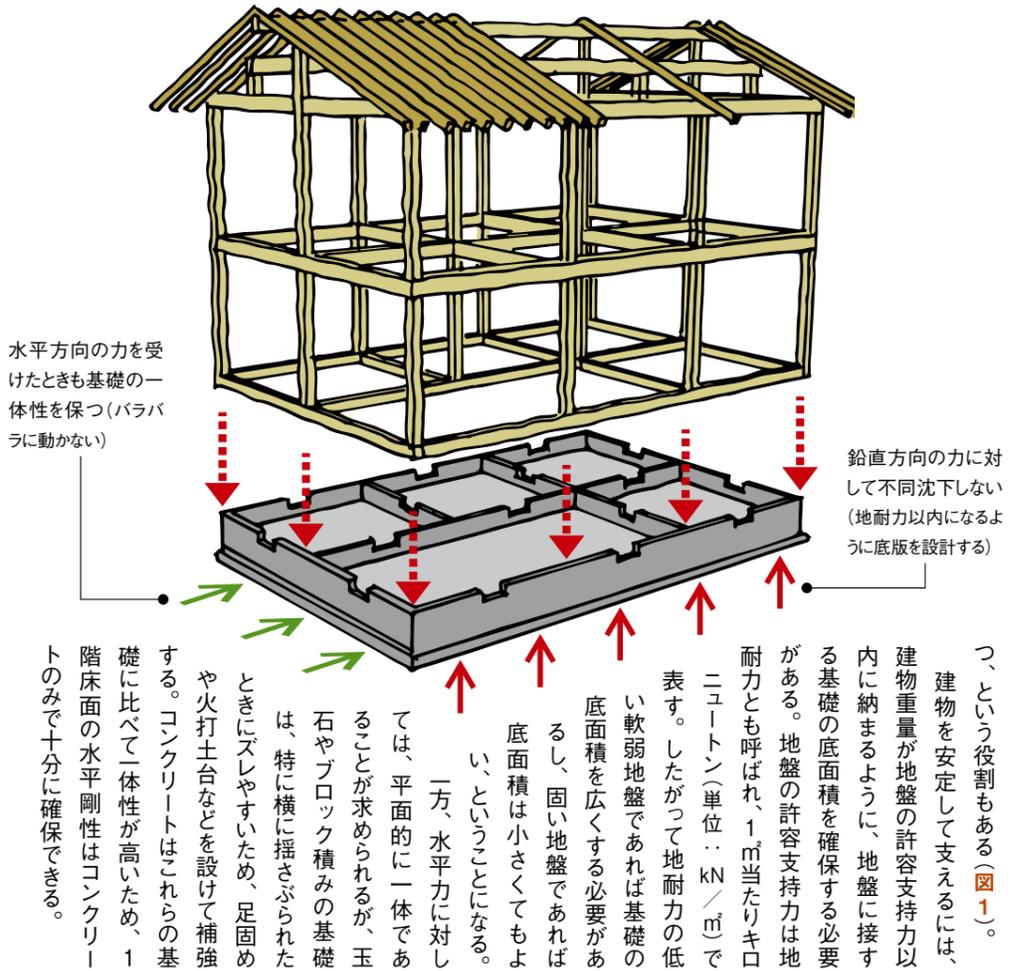
度重なる建築資材の値上げによって住宅価格が高騰している昨今、いかに材料の無駄をなくし施工コストを抑えるかが、工務店にとって最優先事項ではないだろうか。なかでも基礎の材料であるコンクリートや鉄筋は「天井が見えない」といわれるほど値上がりが続いており、材料費を少しでも抑えたい…と考えている人も少なくないはずだ。

そこで第1回は、基礎の役割をおさらいしながら、基礎の設計や施工に起こりうる「無駄」とは何かを考えてみたい。

すぎき・りゅうこ

一級建築士、構造設計一級建築士。1991年法政大学工学部建築学科卒業、山辺構造設計事務所入社。主に木造に関する構造設計や監理、書籍の執筆等を担当。大工塾での講義や大工との協働による構造実験の積み重ねが、設計活動のベースになっている。

図1: 基礎の役割



基礎は地盤と住宅をつなぐ要

基礎は常に建物重量を支え、不同沈下を防ぐ役割を担っている。また、地震や暴風時には、横に揺さぶられた建物の足元が動かないよう平面的な一体性を保つ、という役割もある（図1）。

建物安定して支えるには、建物重量が地盤の許容支持力以内に納まるように、地盤に接する基礎の底面積を確保する必要がある。地盤の許容支持力は地耐力とも呼ばれ、1㎡当たりキロニュートン（単位：kN/㎡）で表す。したがって地耐力の低い軟弱地盤であれば基礎の底面積を広くする必要があり、固い地盤であれば底面積は小さくてもよい、ということになる。

施工性がよいベタ基礎が主流

木造住宅の基礎は主に布基礎とベタ基礎があり（図2）、軟弱層が厚い場合はその下に杭を配置するなどの地盤改良を行う。

布基礎は、主要な軸組の下に連続してフーチング付きの基礎梁を設けるもので、地耐力に応じてフーチングの幅を決定する。1階の床下は土のままのときもあるが、湿気を防ぐためコンクリートを打つのが一般的である。

ベタ基礎は、フーチングと防湿コンクリートを兼用するコンクリートスラブを打ったもので、構造的には基礎の一体性が向上し、水平剛性が非常に高くなる。底版面積1㎡当たりの建物重量（接地圧。地盤にかかる建物重量）が小さくなるため、軟弱地盤にも対応しやすい。布基礎と比べてコンクリート量と鉄筋量が増えるぶんコストはかかるが、根切りや埋め戻しが少なく地表面を荒らす範囲が抑えられるうえ、型枠量も減り施工性が良くなるため、近年はベタ基礎が主流である。

図3にベタ基礎の注意点をまとめたので参考にしてほしい。

図2: 主な基礎の種類

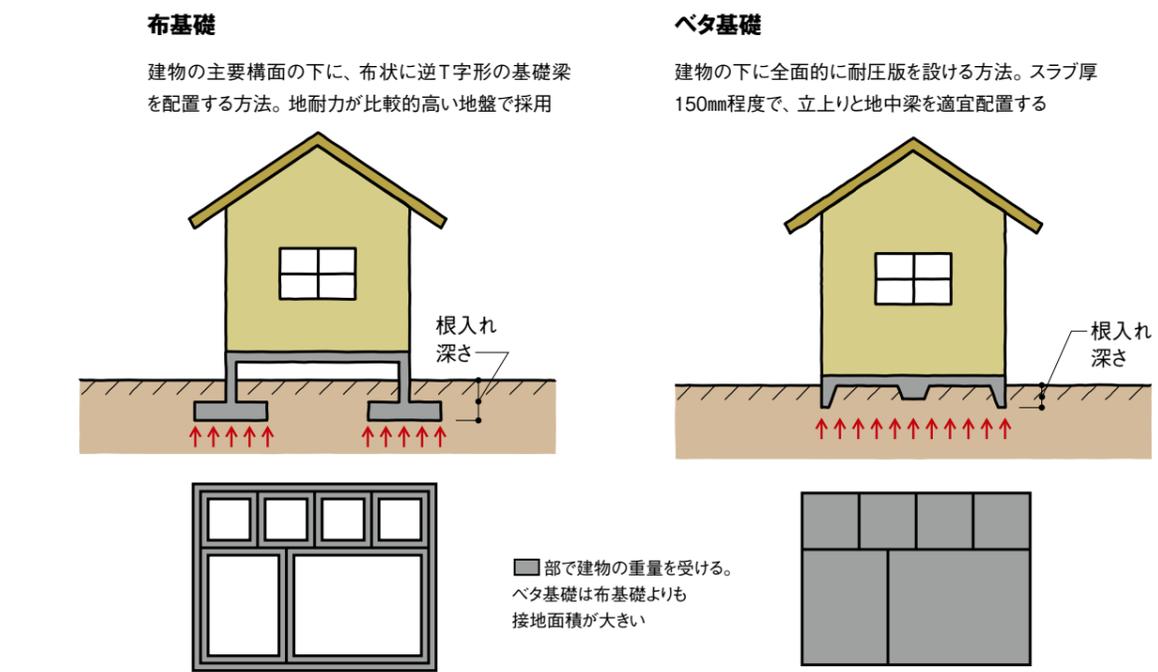


図3: ベタ基礎の注意点

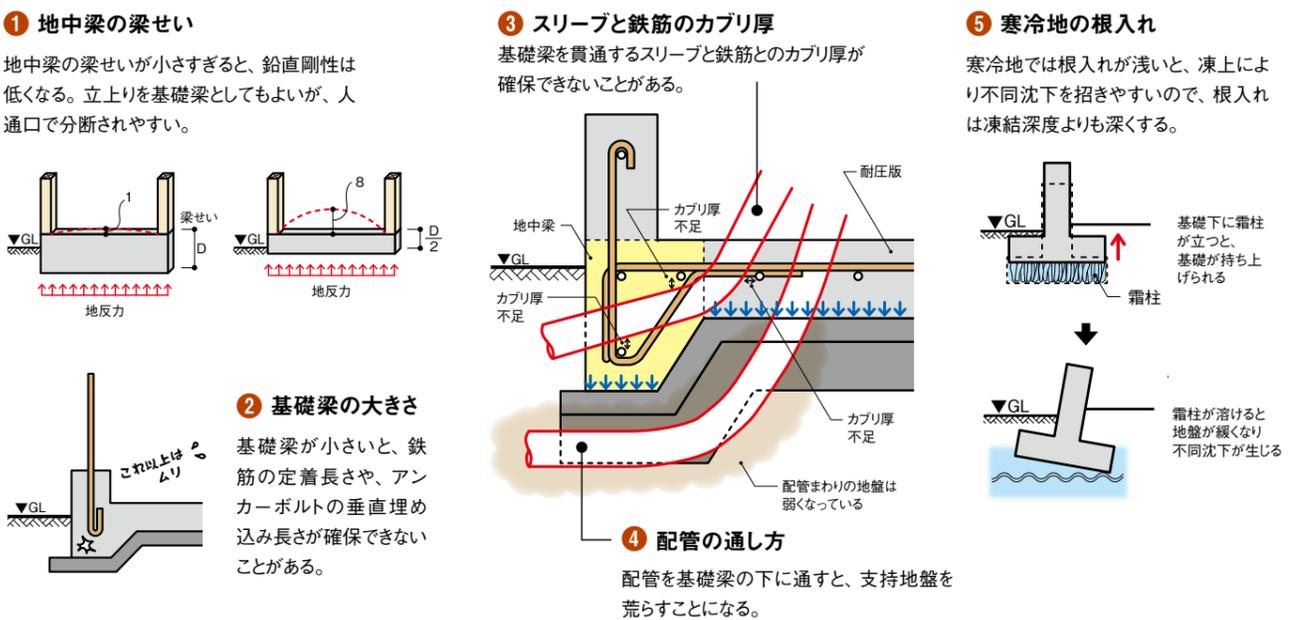
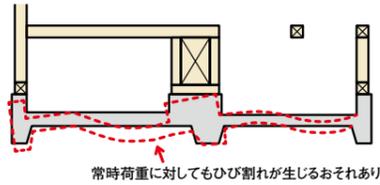


図6: ③通り軸組図に見る
基礎梁が連続することの意味

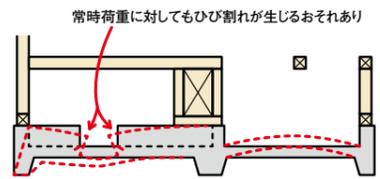
1 島基礎

そもそも基礎梁になっていない。



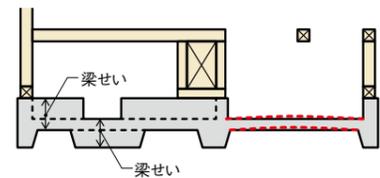
2 立上りの中間に人通口

基礎梁が分断されてしまう(ほぼ島基礎状態)。



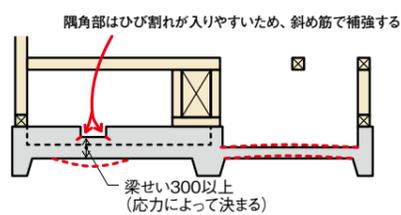
3 人通口部分にも立上りがある

梁せいは部分的に低くなるが、基礎梁は連続している。
人通口は応力の小さい箇所に設ける



4 人通口の下に地中梁がある

梁せいを確保して基礎梁を連続させる



5 地中梁を通す

地中で基礎梁を通し、立上りは柱や耐力壁の下に設ける。
人通口の位置は比較的自由に決められる。

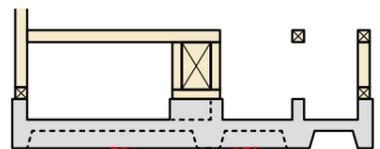
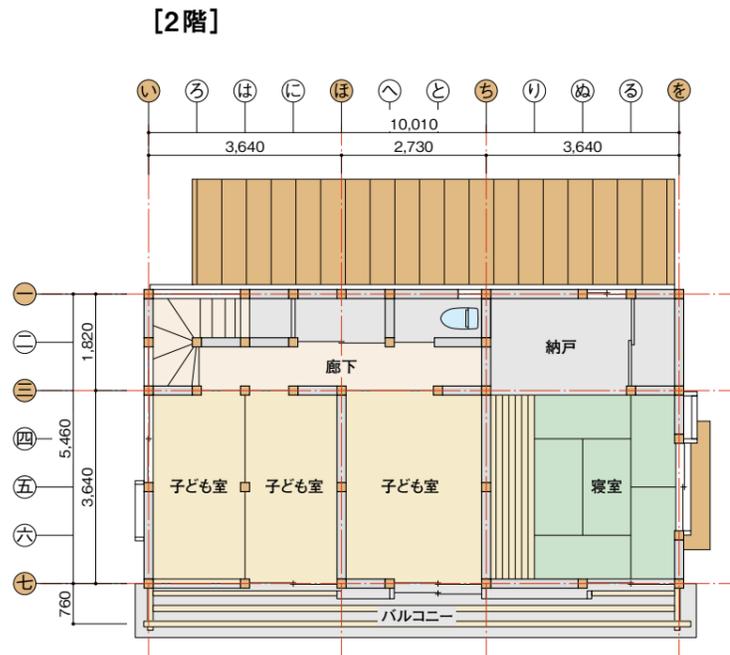
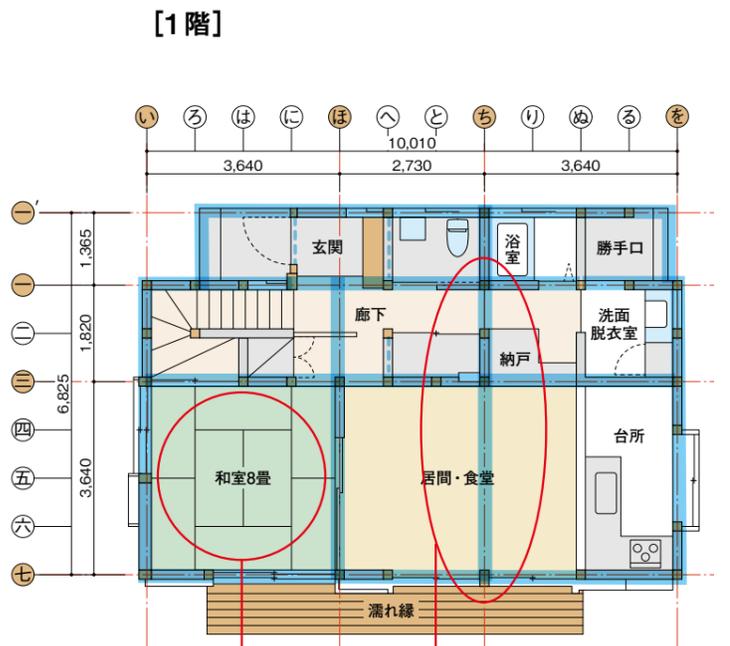


図5: 基礎梁の配置の良い例



主構面に荷重が流れるように、小屋組みや
2階床の梁、耐力壁、1階柱を設けることで
基礎梁も無駄のない配置に

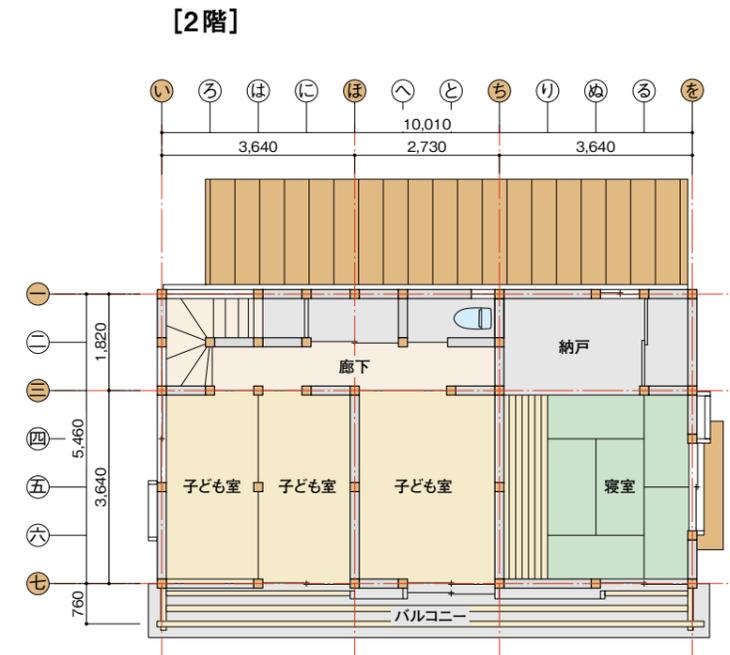


同じ厚さのスラブでも基礎梁
で囲まれた面積が小さいほど
基礎の剛性は強くなる

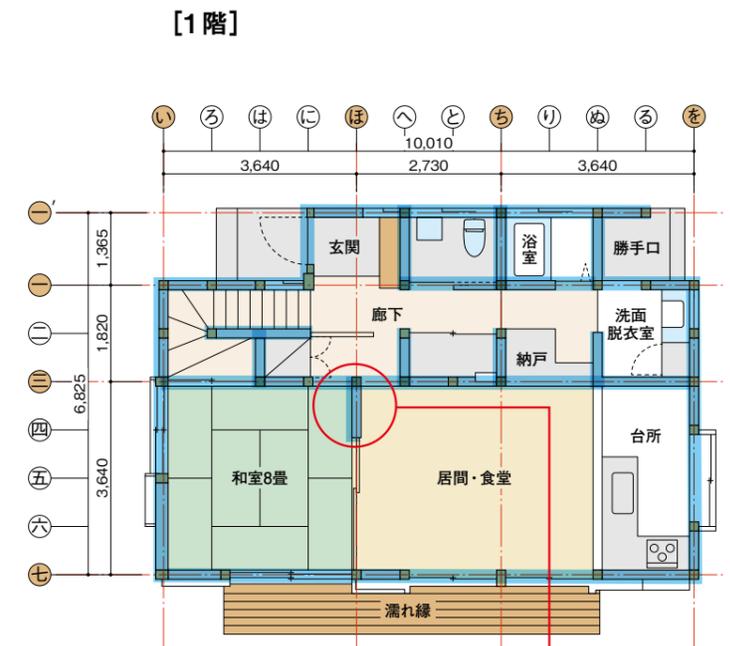
基礎梁が連続していれば、大
きな力がかかっても局所的な
沈下を防ぐことができる

図4: 基礎梁の配置の悪い例

凡例
●: 主構面
■: 基礎梁



架構全体を考えずに1階の柱のみを見て基礎梁を
配置しているため、荷重が大きくかかる範囲に
基礎梁が少ない状態になっている



立上りが連続していない島基
礎は、不同沈下しやすい

構面を意識した
基礎梁の配置を

基礎のコストダウンの原則は、何といても複雑な形状を避けること。基礎梁の断面を小さくしてコンクリート量を減らしたり鉄筋の量を減らしたりすることは、構造耐力上、限界がある。シンプルで合理的にコストダウンするには、「構面」を意識した構

造計画、および平面計画がカギとなることを覚えておこう。前述のように基礎の役割は、建物の荷重を受けて地盤に伝達することなので、基礎梁は原則として柱と耐力壁の下に設ける。たとえば図4のように「構面」を考えずに設計すると、基礎がブツ切れになり、型枠設置や配筋も手間がかかって基礎のコストアップにつながる。構造的にみても不連続な部分が多いと力の流れが複雑にな

り、合理的ではない。一方、図5のように、「構面」を考えて設計すると、力の流れが明快で、基礎もおのずとスッキリした形になる。ただし、基礎には床下を点検するための人通口を設けなければならないため、人通口部分にも立上りを設けたり、地中梁をつくるなどして基礎梁を連続させてほしい(図6)。上部架構と基礎の検討を専門業者などに丸投げするのは

なく、計画の全体を把握している設計者が、プランニング段階で基礎と上部架構を関連付けて考え整理することが、全体のコストダウンにつながるのである。次回(11月1日発行)のテーマは、「無駄のない基礎設計は地盤調査から」です。スクリーウエイト貫入試験による調査の結果に対して、どのように基礎を検討するのがよいかを解説します。



1階から3階までつながる緩やかな蹴上げの螺旋階段。手すりには黒大理石を使用

白と緑青のコントラストが美しい別荘建築



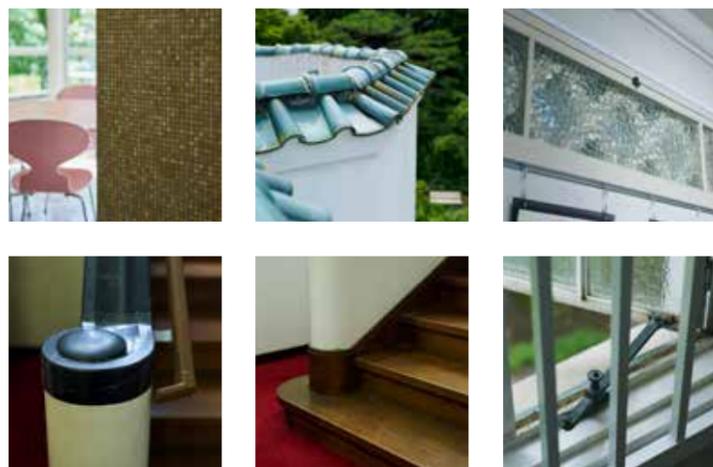
1階サンルームからの庭の眺め。ここから四季折々の木々の表情を楽しめる



タイル張りの屋上テラス。奥のパーゴラ下には噴水口が見える



アーチ型の玄関ポーチ。側面には三角形の透かし彫りが施されている



上段左 / サンルームの壁に貼られたモザイクタイル。建物内外の随所にタイルが使われ、デザインのアクセントとなっている

上段中 / スペインから直輸入したというスペイン瓦

上段右 / 開閉可能なガラス戸付きの玄関と居室(第二展示室)をつなぐ彩光窓

下段左・中 / 階段の支柱(左)。1段目の段板端部(右)に合わせた、優しい曲面をもっている

下段右 / 階段室の窓に取り付けられた金物

小田原城の南西、桜並木が続く西海子小路の一角に、小田原文学館があります。本館はもともと1937(昭和12)年に、土佐藩出身で、第3次伊藤内閣において宮内大臣を務めた田中光顕伯爵の別邸として建てられたスペイン風洋館です。設計者は曾禰達蔵。ジョサイア・コンドルに師事し、世界遺産に登録されている三菱重工業長崎造船所「占勝閣」や慶應義塾大学図書館などを手がけた唐津藩出身の建築家です。

白壁に緑青のスペイン瓦が映えるモダンな建物は、鉄筋コンクリート造3階建て。脇に木造平屋の管理棟が接続しています。別荘としては比較的小規模で、延床面積は361.03㎡。2000年に国の登録有形文化財に登録され、小田原市の歴史的風致形成建造物にも指定されています。

田中伯爵邸が文学館として開館したのは1994年のこと。1・2階に設けられた展示室には、北村透谷や尾崎雄、北原白秋、谷崎潤一郎など、小田原出身や小田原に縁のある文学者の直筆原稿や書簡などが保管・展示され、当時、小田原で文学活動が盛んだったことを教えます。

住宅文化財 探訪のすすめ

取材：加藤泰朗 撮影：奥山晴日



神奈川県小田原市

小田原文学館 (旧田中光顕別邸)

南側庭園から望むスペイン風洋館の本館。1階・2階にはモダンデザインを思わせるシンプルな造形のサンルームが設けられている。建築家・曾禰達蔵の最晩年の作品



こだわりの詰まった近代和風建築



上／2階主座敷を囲む廊下にも畳が敷かれている 右上／“からたちの小径”から白秋童謡館へのアプローチ。
 右中／軒裏。垂木が現しとなっている 右下／1階主座敷。障子を開けると庭へとつながる大空間となる

神奈川県小田原市
小田原文学館（本館・別館）

DATA

住所：神奈川県小田原市南町2丁目3-4
交通：小田原駅より徒歩20分
 箱根方面行きバス箱根口下車 徒歩5分
 小田急線箱根板橋駅・JR早川駅より徒歩15分
 小田原宿観光回遊バス
 小田原文学館前下車（土日祝日のみ）

開館：3月～10月 10:00～17:00
 11月～2月 10:00～16:30

休館：月曜日（休日に当たる場合はその翌日）
 年末年始（12月28日～1月3日）
 ＊臨時休館あり

入館料：一般 250円（団体 180円）
 小中学生 100円（団体 70円）
 ＊団体は20名以上

問合せ：0465-22-9881（小田原市図書館）

見学メモ● 市民に開放された庭園を挟んだ1つの敷地内で、和洋の登録有形文化財建造物を体験できる。また、敷地内には、小田原市出身の文学者・尾崎一雄の自宅（一部）が移築されており、文学館と併せて、文学活動が盛んだった往時の小田原をしのばせる。

本館南側の庭園を抜け、からたちの小径を進むと、その先に見えるのが別館の白秋童謡館です。ヒノキ材を多用した入母屋造の木造2階建て（一部地階）で、洋館より以前の1924（大正13）年に建てられた、同じく田中伯爵の別邸です（設計者不明）。延床面積は221.14㎡。瓦棒銅板葺きの屋根には、南側の正面と背面に千鳥破風が乗っています。

1階と2階の主座敷につくられた床の間や違棚、付書院などの座敷飾り、小紋硝子を組み込んだ建具、地下室に設けられたワインセラー（非公開）などからは、別邸建築ならではのこだわりが、白秋童謡館としての活用が始まったのは1998年。北原白秋が



南側正面。屋根には、この建物の特徴の1つである千鳥破風が設られている

小田原に建てた「木鬼の家」の模様や直筆原稿などのほか、白秋の童謡を映像と音楽で紹介する装置もあり、白秋の創作活動を振り返ることが出来ます。本館と同様、国の登録有形文化財に登録され、小田原市の歴史的風致形成建造物に指定されています。